

49期生の皆さん、お久しぶりです。こうして皆さんとお話するのは、1月9日の全校集会以来でしょうか。この間、センター試験、期末考査、私立大学入学試験、国公立大学前期試験と、試験ばかりで、おそらく緊張の連続だったと思います。せめて、今日と明日は、千里高校でゆっくりしてください。

明日の卒業式でも、「はなむけのことば」として、お話しさせていただきますが、今日の予行では、卒業式では、絶対に言えない話をしたいと思います。

実は、私は、卒業式が嫌いです。別に、式辞を考えたり、卒業証書を渡すのが面倒くさいとかいうのでは、全くなくて、別れが辛いのです。明日から3月ですが、私は、3月も嫌いです。学校は、3月終わりのため、どうしても、親しくしていた人たち、生徒さんや先生方と、別れなければならないからです。

現在「放牧」中の「いきものがかり」に、「YELL」という歌があります。皆さんが明日歌う「3月9日」とともに、卒業式の定番ソングですが、その歌詞とメロディが、自分の思いにとってもあっていて、私は、大好きです。

12月7日の「激励会」でも歌いましたけど、一度、人前で歌う喜びを覚えてしまうと、癖になってしまいましたので、ボーカルの吉岡さんには、遠く及びませんが、今日も歌います。ただ、全曲を歌うと6分かかるので、サビの部分だけにします。

サヨナラは悲しい言葉じゃない それぞれの夢へと僕らを繋ぐ YELL  
ともに過ごした日々を胸に抱いて 飛び立つよ 独りで 未来(つぎ)の 空へ

“ほんとうの自分”を 誰かの台詞(ことば)で 繕うことに 逃れて 迷って  
ありのままの弱さと 向き合う強さを つかみ 僕ら 初めて 明日へと 駆ける

サヨナラを誰かに告げるたびに 僕らまた変わる 強くなれるかな  
たとえ違う空へ飛び立とうとも 途絶えはしない想いよ 今も胸に

僕らが分かち合う言葉がある ころからころへ 声を繋ぐ YELL  
ともに過ごした日々を胸に抱いて 飛び立つよ 独りで 未来(つぎ)の 空へ

(「YELL」 いきものがかり作 作詞・作曲：水野良樹)

明日、皆さんとは、一旦「サヨナラ」をいたしますが、この歌詞にあるように、「サヨナラ」は、悲しい言葉ではありません。千里高校でともに過ごした日々を胸に抱いて、次の空へ、飛び立ってください。

また、人間は、弱い。一人では、生きていけない。でも、その弱さを認めて、開き直って、向き合うことができれば、弱さを知る人間は、かえって強い。

そして、4月には、新しい出会いがあります。

「きっと 想像した以上に 騒がしい未来が、皆さんを待っている」

ことでしょう。これも私が好きな歌、スピッツの「チェリー」の1フレーズですが、さすがに、もう歌いません。

最後に、明日の皆さんの門出には、心をこめて、卒業証書をお渡しし、「はなむけのことば」を贈らせていただきます。明日の卒業式、皆さんと一緒に、いい式にしましょう。